

農作業事故は決して他人事ではありません

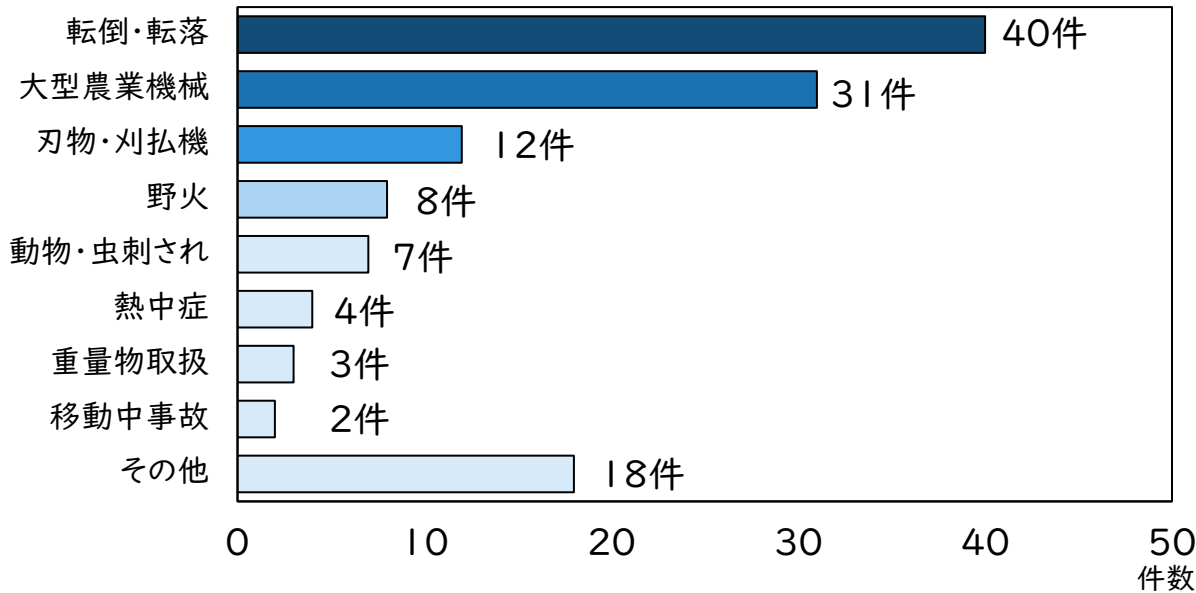
愛知県で発生した農作業事故から事故の要因、事故が起きやすい条件・場面、防止のポイントをまとめました。

昨年、愛知県内で125件の農作業事故が発生しました（うち死亡事故5件）

死亡	重症	中等症	軽症・被害無	計
5	14	14	92	125

令和7年1月～12月に発生した
農作業事故
※愛知県農業経営課調べ

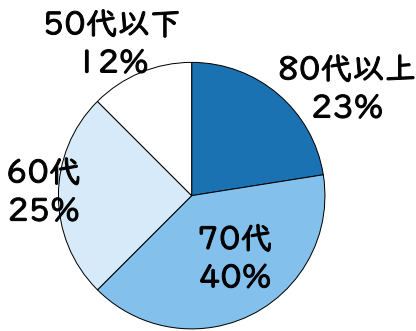
※重症は入院3週間以上の事故、中等症は入院3週間未満の事故、入院なしなどそれ以外は軽症・被害無に区分。



① 事故要因で最も多いのは、「転倒・転落」

転倒・転落事故の88%が60代以上で発生！

- 年齢とともに転倒リスクは高まります。
- 慣れた作業でも急がず行いましょう。



転倒・転落×年代

石・ホース・資材は気付いたらすぐに片付ける！

- 作業前に除去しましょう。
- 運搬中など足元が見にくい作業での転倒が多い。

かんきつ園など、傾斜地×作業の組み合わせで多い！

- 脚立は安定した場所に設置しましょう。
- 傾斜地での転倒・転落事故は重症事例が多いです。



脚立使用の啓発資料

② 大型農業機械が絡む事故は、命に直結！

- 大型農業機械作業中の事故の42%が中等症以上の重大事故！（約4割が入院必要な事故）
- ヘルメット・シートベルト・安全キャブ・フレームは必ず装着
昨年もトラクター走行中の転落での死亡事例あり。
- 点検・整備は「止めてから触る」を徹底



農業機械_研修資料

③ 熱中症対策を徹底しましょう。

- 県内でも熱中症による死亡事故が2件発生しています。
- 熱中症は、適切に対策すれば確実に防げます。



熱中症対策_研修資料

こまめな休憩・水分補給



熱中症対策アイテムの活用



④ できるだけ、一人で作業しない。

- 複数名で作業する。時間を決めて連絡を取り合う。
- 地域や家族で声を掛け合いましょう。



⑤ 10～11時、14～15時に 特に注意しましょう！

- 慣れや疲れが出る時間帯です。
- この時間の前後で、一旦休憩をとしましょう。

